

J-RAIL2026 原稿作成手引

1. 原稿の作成にあたって

本手引きに従って論文原稿を作成し、PDF ファイルにて提出をお願いします。基本的には原稿の書き方は `template2026.docx` の様式に則っていただきますが、土木学会、日本機械学会、電気学会の過去の J-RAIL の様式に従って原稿が作成されていれば、`template2026.docx` に完全に合わせて頂かなくても結構です。周囲の余白が規定より小さく、論文集の印刷可能範囲を超えている場合は、周囲が切れた原稿になってしまいますのでご注意ください。以下の事項を十分考慮の上、原稿を作成して下さい。

2. 原稿用紙のサイズ

原稿のサイズは下記の通りに設定して下さい。

用紙サイズ	A4
文字・行数	表題：55 文字×50 行 本文：26 文字×50 行×2 段（段余白 3 文字）
文字の大きさ	表題（和文・英文）：12 ポイント 著者、所属（和文・英文）：11 ポイント 本文、アブストラクト、キーワード：9 ポイント
余白	上：20 mm，下 25 mm，左右 20 mm

3. ページ数の制限

2 ページから 6 ページとします。奇数ページも可とします。

4. 略語・用語・数式・記号・単位系

（1）略語

略語を文中で使用する場合には、最初に出現する箇所で定義あるいは説明を行って下さい。

（2）用語

慣例となっていない用語を文中で使用する場合には最初に出現する箇所で定義あるいは説明を行って下さい。

（3）数式

数式はセンタリングし、式番号は右詰とします。数式はできるだけ簡単で解釈しやすい形でまとめて下さい。

（4）記号

文字、記号、単位記号などはできるだけ分かりやすい記号を使い、必要に応じて記号の一覧表を付けて下さい。なお、記号が最初に現れる箇所で記号の定義を説明し、同一記号を 2 つ以上の意味で使うことは避けて下さい。

（5）単位系

単位は SI 単位を使用して下さい。その他の単位系を用いる場合は、かっこ書きで併記して下さい。

例：9.8 kN/m³ (1 tf/m³)

0.49 MPa (5 kgf/cm²)

5. 図面・表、写真等の注意事項

- 1) 図表の題、図表内の文字は、日本語+英語の併記、日本語のみ、英語のみのいずれでも構いません。
- 2) 図・表・写真は、それらを最初に引用する文章と同じ頁に置くことを原則とし、その頁の上部か下部にまとめるようにレイアウトして下さい。図・表・写真の横（余白）には本文は組込まないで下さい。
- 3) 図・表・写真を他の著作物から引用する場合は、出典を必ず明記するとともに、事前に原著者の了承を必ず得てください。また、引用する図・表・写真を修正・加筆した場合はそれがわかるように示してください。
- 4) 図や表の番号・見出しには“図 1 図の見出し”，“表 2 表の見出し”のようにゴシック体として下さい。
- 5) 図の見出しは図の下に、表の見出しは表の上に配置して下さい。

6. 原稿の書き方（原稿作成例参照）

（1）表題等は別添の「原稿作成例」に従って①～⑥の順序で記入し、本文を書き始めて下さい。

① 表題 【フォントサイズ 12 ポイント】

- ・用紙 3 行分を使って中央に配置して下さい。

② 会員種別・氏名・(所属) 【フォントサイズ 11 ポイント】

- ・会員種別は各所属学会（個人会員）について右欄の記号を記入して下さい。その他の方は記入しないで下さい。

所属学会	土 木 学 会 — [土]
	日 本 機 械 学 会 — [機]
	電 気 学 会 — [電]
	日本鉄道接触力学会 — [接]
	4 学 会 に 所 属 — [土，機，電，接]（カンマ区切りで併記）
	非会員・その他 — 無記入

- ・発表予定者には、氏名の前に○印を付けて下さい。

③ 表題（英文） 【フォントサイズ 12 ポイント】

④ 氏名・(所属)（英文） 【フォントサイズ 11 ポイント】

⑤ Abstract（英文） 100～150words 程度 【フォントサイズ 9 ポイント】

⑥ キーワード 【フォントサイズ 9 ポイント】

- ・6 単語以内で、具体的な意味合いのある言葉（名詞形）を記入して下さい。著者が作った新語は不可とします。
- ・日本語の記述の下に、英単語でキーワードを記入して下さい。

（2）本文（26 文字×50 行×2 段） 【フォントサイズ 9 ポイント】

- ① キーワードから 1 行改行して、本文の記述は下記のように見出しを（章，節，項）を付け、各章の題名の上のみ 1 行分あけて下さい。それ以外は行を詰めて記入して下さい。

章：1. ○○○○○○（MS ゴシック）

節：1. 1 ○○○○○○（MS ゴシック）

項：(1) ○○○○○○（MS ゴシック）

- ② 文章の区切りには全角の読点および句点を用いてください。句読点は行の先頭にこないように注意してください。なお、句読点ルール（「，」「、」「.」「。」のいずれを使うか）は、主催・共催学会の標準的なルールに従って構いません。ただし、原稿内ではルールを統一してください。

- ③ 数学記号，単位記号及び量記号は，半角英数字を使用してください。
- ④ 本文には，半角かな文字を使用しないでください。

(3) 参考文献

参考にした文献は，引用・参考箇所を“1)，2)”のように右肩に番号をふり，本文末に出現順にまとめて記載して下さい。

参考文献の書き方は，著者名，論文名，雑誌名（書名），巻，号，開始ページ，終了ページ，発行年（西暦）の順に記入して下さい。英文の雑誌の場合は，姓，イニシャルとして下さい。著者数が多い場合でも参考文献リストには全ての著者名を記載して下さい。

参考文献のまとめ方は，次の書式にしたがって下さい。

<例>

- 1) 本間仁，安芸皓一：物部水理学，pp. 430-463，岩波書店，1962.
- 2) 日本道路協会：道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編，pp.110-119，1996.
- 3) 岡村甫，前川宏一：鉄筋コンクリートにおける非線形有限要素解析，土木学会論文集，No.360/V-3, pp.1-10，1985.
- 4) Shepard, F. P. and Inman, D. L.: Nearshore water circulation related to bottom topography and wave refraction, Trans. AGU., Vol. 31, No. 2, 1950.
- 5) C. R. ワイリー（富久泰明訳）：工学数学（上），pp. 123-140，ブレイン図書，1973.
- 6) Smith, W., et al.: Cellular phone positioning and travel times estimates, Proc. of 8th ITS World Congress, CD-ROM, 2000.

7. 電子投稿用 PDF 論文原稿作成上の注意

(1) 使用できるフォントの制限

原稿内に使用するフォントは以下に限定して下さい。これ以外のフォントを利用すると文字化けの原因になる場合があります。

表：使用できるフォント

原稿を作成する OS	Windows	Mac
日本語フォント	MS 明朝，MS ゴシック	MS 明朝，MS ゴシック，ヒラギノ
英字フォント	Arial，Century，Times，Times New Roman，Helvetica，Symbol	

※他のフォントの使用，不使用に関わらず，PDF 作成時にすべてのフォントの埋め込みを必ず行って下さい。ただし，フォントの埋め込みによりでき上がる PDF ファイルサイズが増大しますので容量が大きくなり過ぎないように配慮ください。※Mac 上で日本語フォントには絶対にボールドをかけないで下さい。太字にしたい場合は MS ゴシック，MS 明朝または太字用のフォントをお使いください。

(2) 色使い

文字も含め，色使いの制限は特にありません。

(3) ヘッダ・フッター

規程以外のヘッダやフッター，ノンプル（ページ番号）は絶対に入れないで下さい。

（４）写真や画像などの解像度

写真（画像）データは、画面上ではきれいに表示されていても、出力画質が悪いことがあります。きれいにプリントするためにはおよそ 150～360dpi 程度の画像解像度を必要としますので、配置するデータをあらかじめご確認下さい。

画像解像度を設定できない場合は、最終的に割付け（配置）する寸法の 2 倍程度の大きさのものをご用意下さい。

（６）PDF ファイルの作成

最終原稿は PDF ファイルでご提出いただきます。Adobe Acrobat Reader 最新版で表示または印刷可能な PDF ファイル（フォント埋め込み）で作成の上、提出してください。なお、ファイルサイズは 10M バイト以内としてください。

（７）提出方法

J-RAIL2026 ホームページの「講演申し込み」のページよりご提出ください。

以上